



## 学年のまとめ 成長した姿を

～感染防止に努め～

本年度最後の授業参観実施

感染防止のため、1月中止、2月から延期しておりました授業参観・個別懇談を3月8日(火)感染防止策を講じて実施いたしました。まん延防止等重点措置は解除されましたが、依然として感染防止の徹底を図ることは重要なため、密とならないよう授業場所の変更や入れ替え等に協力いただくとともに、飛沫ガードやフェイスマスク等を活用して実施しました。制限のある中ではありましたが、学年のまとめの姿を参観いただきましてありがとうございました。



3年生 福島市のじまん(総合)



6年生 感謝の会を開こう(学活)



5年生 すれちがい(道徳)



2年生 あしたへジャンプ(生活)



4年生 二分の一成人式(学活)



1年生(生活)  
もうすぐ2年生

むつみ(理科)  
電流と電磁石



なごみ 1年間を振り返ろう(学活)

# 卒業に向け着実に

3月2日(水) JRC引継ぎ式

3月3日(木) 同窓会入会式

## JRCの精神を託す



JRC委員会委員長が代表して、思いを伝える言葉とともにポスターを手渡しました。受け取った5年生代表が誓いの言葉で、JRCの精神を受け継ぎました。その後、1～4年年生がオンラインで見守る中、委員会ごとに引き継ぎが行われました。

## 校訓「終始一誠意」を胸に



石田吉宏同窓会長様から入会記念品贈呈を受け、代表児童が「終始一誠意」の教えと6年間の学校生活で学んだことを大切に歩いていくと、誓いを立派に述べ、6年生18名全員が同窓会入会となりました。

## 3. 11を忘れない

### ～思いを未来につなぐ～

震災前、被災地の浜通り12市町村にいた5396人の小学生が震災による避難で1131人となり、少しずつ戻ることができるようになってきましたが、10年後2021年には573人。1/10にまで減ってしまっているのです。学校は、10校もなくなっているのです。まだまだ心を痛めているお友達もいることを私たちは忘れてはならないのです。

これは、実際に津波の被害を受けた「請戸小学校」の職員室の様子です。震災遺構として残されています。この災害を忘れることなく、地震や津波などの災害に備えることの大切さを私たちに伝えているのです。

一方で、私たちには学んだことや希望もあります。命の大切さ、防災・備えることの大切さ、電気や水があり家族がいて学校に通える日常の大切さ、苦しいときに周りの人たち・世界中の人とつながり助け合うこと、周りの人がいるから自分が生きられること、そんな、日々の当たり前のことが実はかけがえないものであることに気づき、感謝し、感謝を行動で示すことを学びました。

そして、みんなで協力し合い、前を向いて「始める」ことに希望を感じることもできます。

私たちにできること、それは、この出来事を忘れ去ることなく「知る」ことを通して、福島に住む一人として、これからも福島の今を理解し、みんなで手を取り、助け合い協力して福島を前進させていくことです。(後略)

(前略) あれから11年たちます。もう、「昔のこと」と思ってしまうかもしれません。しかし、今もなお、故郷に帰れない人たち、風評被害に苦しむ人たちがいます。それは、皆さんと同じ小学生の中にもいるのです。

